



# 南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



6月号



東海地方までは、異例の早さで梅雨入りしました。大和市の梅雨入りももう間もなくのようです。地域のお庭には、梅雨の代名詞ともいえる、紫陽花が色とりどりに咲き誇っています。紫陽花の花言葉はいくつかあるようですが、小さな花が仲良く寄り添って咲いているところからつけられ

た、「和気あいあい」「家族団らん」が、ご家庭の紫陽花には一番合っていると思います。ただ、もう一つの代名詞の「かたつむり」は、最近あまり見かけなくなってしまいました。気候のせいなのか、私の観察力が衰えたからなののでしょうか…。

この季節の雨は、農作物にとっての恵みの雨ですが、最近では、「数十年に一度の…」や「一か月分が今日一日で…」などと言われる激しい雨風が、各地で大きな被害をもたらしています。南林間小学校の地域は、洪水浸水想定区域には含まれていませんが、一部が土砂災害警戒区域となっています。災害時には、電気や上下水道などのライフラインにダメージが生じることもあります。学校では、急な激しい雨風の場合など、児童を留め置いたり、早めに下校したりするなどの措置をとることがあります。そのときは学校P Sメールを使って、事前に連絡をいたします。それ以外の緊急情報などを発信することもありますので、この機会に、学校P Sメールの登録確認を、よろしくお願いいたします。



今月も、児童全員が笑顔いっぱい、楽しく過ごす学校づくりに努めてまいります。

【5月20日から、避難指示情報が新しくなりました。大和市のホームページなどでご確認ください。】

(校長 板坂 和明)



自然は私たちに恩恵を与えてくれる素晴らしいものではありますが、時には地震や風水害などで私たちの生活を脅かすものでもあります。いつ、どんな時にも起こり得る災害への備えをしていかなければなりません。学校では、発達段階に応じた防災指導を行っています。毎年、避難訓練も行い、災害時の行動の仕方や避難路の確認を行っています。

昨年度・今年度と新型コロナウイルス感染症予防のため、市内一斉引き渡し訓練は実施できませんでした。「学校は、震度5以上の地震が起こった場合、安全な状況になるまで児童を保護（預かり保護）し、保護者の方は、ご自身の安全が確保されてからお子さまを引き取りに来る。」という流れにつきまして、今一度ご確認いただけたらと思います。また、交通機関や道路の状況等に混乱が生じることも予想され、市内学校では、引き渡しまでの預かり保護で、食料・飲料水について児童一人に対し最低1日分は必要であるとの想定のもと備蓄を行っていくこととなりました。

子どもたちの命の安全を守るために、「行動の備え」そして「食料・飲料の備え」を行ってまいります。備蓄につきまして詳細が決まりましたら改めてご連絡いたします。ご理解・ご協力をお願いいたします。

(教頭 小林 美紀)